

日本学術会議 公開シンポジウム

生態学の展望

日時：2016年3月24日（木）13:30~16:30

会場：仙台国際センター

（第63回日本生態学会仙台大会会場、宮城県仙台市青葉区）

主催：日本学術会議 生態科学分科会

共催：日本生態学会

入場無料・参加事前登録必要

生態学会大会参加者でない方のみ、下記より事前登録ください

<https://sites.google.com/site/cessymposium/home>



参加事前登録サイト

開催趣旨：

日本学術会議生態科学分科会では、第22期と23期にわたって、日本の生態学の現状をレビューし、さらなる発展の障害となっている事項について検討を重ね、急速に発展すべき分野についての議論を進めてきた。今回、文書にとりまとめるにあたり、関連学会にも回覧してコメントを求め意見を集約するため、日本生態学会仙台大会の会場において公開シンポジウムを開く。文書ではとくに注目すべきものとして、若手研究者の育成、社会的課題への貢献、研究体制と研究費、急速な進展が予想される研究領域、に集中してとりまとめている。本フォーラムでは、最初に「生態学の展望」の内容を紹介し、そのあと急速な進展が予想される生態学の研究領域をとりあげ、学会員だけでなく広く市民の参加をえて議論する。

プログラム：

13:30 企画の主旨と『生態学の展望』について

巖佐庸（生態科学分科会委員長、九州大学大学院理学研究院教授）

13:45 Future Earthなどの国際共同研究プロジェクトと日本の研究体制

矢原徹一（九州大学大学院理学研究院教授）

14:15 海洋生態系研究の最新動向と展望について

仲岡雅裕（北海道大学厚岸臨海実験所教授）

14:45 開花制御の生理学と陸上植物の環境適応

工藤 洋（京都大学生態学研究センター教授）

15:15 ミクロ生物学分野が取り組む生態学の課題

河田 雅圭（日本学術会議連携会員、東北大学生命科学研究科教授）

15:45 総合討論